



Cascade Setup Guide

for PM5D, DME64N/DME24N and DM2000



DME64N/DME24N



	•••••
モード 1:リモートコントロールとオーディオ信号の双	方向
接続	
カスケード設定	
パッチ設定	
コントロール & モニター設定	
シーンリコール用 MIDI リンク設定	
モード 2:リモートコントロールとオーディオ信号の単	方向
接続(PM5D → DME64N)	
カスケード設定	
パッチ設定	
コントロール & モニター設定	
シーンリコール用 MIDI リンク設定	
モード 3:オーディオ信号の単方向カスケード接続	
モード 3: オーディオ信号の単方向カスケード接続 (PM5D → DME64N)	
(PM5D → DME64N)	
(PM5D → DME64N)	
(PM5D → DME64N) カスケード設定 パッチ設定	
(PM5D → DME64N)	

PM5D & DME64N with MY16-C/MY16-CII	20
リモートコントロールとオーディオ信号の双方向接続	
(MY16-C/MY16-CII カードを使用した場合)	20
カスケード設定	21
MY16-C カード設定	22
MY16-CII カード設定	23
コントロール & モニター設定	24
シーンリコール用 MIDI リンク設定	25
PM5D & DME24N with MY16-C/MY16-CII	26
リモートコントロールとオーディオ信号の双方向接続	
(MY16-C/MY16-CII カードを使用した場合)	26
カスケード設定	27
MY16-C カード設定	28
MY16-CII カード設定	29
コントロール & モニター設定	30
シーンリコール用 MIDI リンク設定	31
DM2000 & DME64N CASCADE	32
オーディオ信号の単方向カスケード接続	
(DM2000 → DME64N)	32
カスケード設定	
MIDI リンク設定	34

NOTE:

各モデルのロゴ (PM5Dなど) は、その機器で必要な設定と操作を示しています。

© 2006 YAMAHA CORPORATION All rights reserved.

モード1:リモートコントロールとオーディオ信号の双方向接続

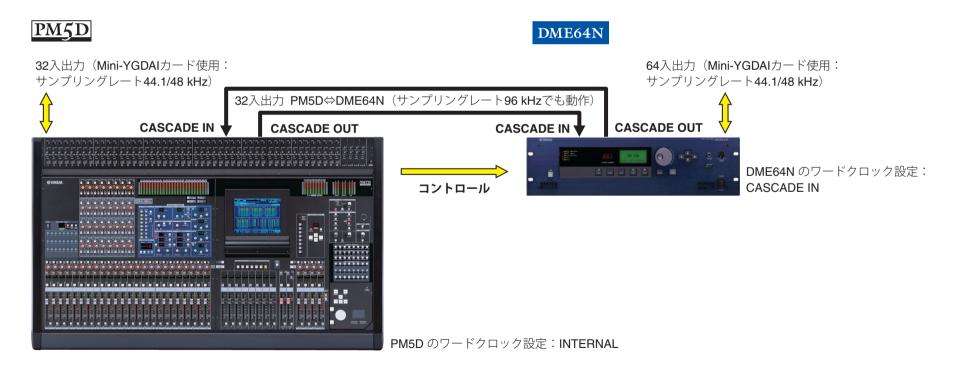
この接続ではCASCADE IN/OUT端子を使用しますが、いわゆるカスケード機能ではありません。(MIXバスからの信号はミックスされません。PATCHファンクションを使用して入出力パッチ設定を行う必要があります。)

メリット:

- ・DME64Nを外部GEO/PEOとしてインサートできます。
- ・DME64Nを外部エフェクト(Send/Return)として使用できます。
- ・DME64Nのさまざまな機能をPM5Dからコントロールできます。
- ・インサートセンド、ダイレクトアウトを含む PM5D の出力を自由に DME64N にパッチできます。
- ・DME64Nの音声信号をPM5DのCUEバスからモニターできます。
- ・96kHz 時でも、PM5Dと DME64N 間で、32の入出力信号が扱えます。(CASCADE IN/OUT 端子は DOUBLE SPEED モードで動作します。)

デメリット:

・2基のI/Oスロット(32入出力)が使用できなくなります。

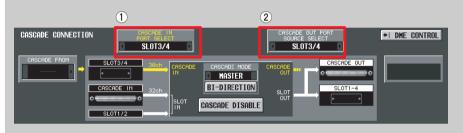


■カスケード設定

PM5D

MIXER SETUP 画面(SYS/W.CLOCK ファンクション内)で下記のように設定します:

CASCADE IN PORT (1)		CASCADE OUT PORT (2)
SLOT4	(DME64N からは 16 チャンネル分のみの音声を受信できます)	
SLOT3/4		SLOT3/4
SLOT1-4 [CH1-8]	(通常は使用しないオプションです)	SLOT1-4 [CH1-8]
SLOT1-4 [CH9-16]	(MY8 または MY4 カードを使用している場合に有効です)	SLOT1-4 [CH9-16]

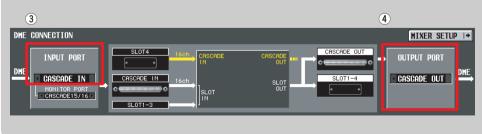


上記で選択したスロットは通常の使用ができなくなります。(上記の接続方法は、通常使用できるスロットの数を制限します。)

カスケード機能を有効にした場合には、これらのスロットに入力されたオーディオ信号が PM5Dの MIX バスへと送られます(SYS/W.CLOCK ファンクション内の CASCADE 画面で設定します)。

DME CONTROL 画面(MIDI/REMOTE ファンクション内)で下記のように設定します:

INPUT PORT (3)	OUTPUT PORT (4)
CASCADE IN	CASCADE OUT

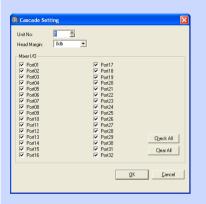


DME64N

Cascade Setting ダイアログボックス(Properties 内)で下記のように設定します:

この方法でPM5Dと接続する場合はHead Margin を 0dB に設定してください。

使用したいポートをすべてチェックしてください。



NOTE:

PM5Dでコントロールしている間でもDME Designerはオンライン状態でかまいませんが、オフラインにするとより快適な速度でのコントロールが行えます。

■パッチ設定

PM₅D

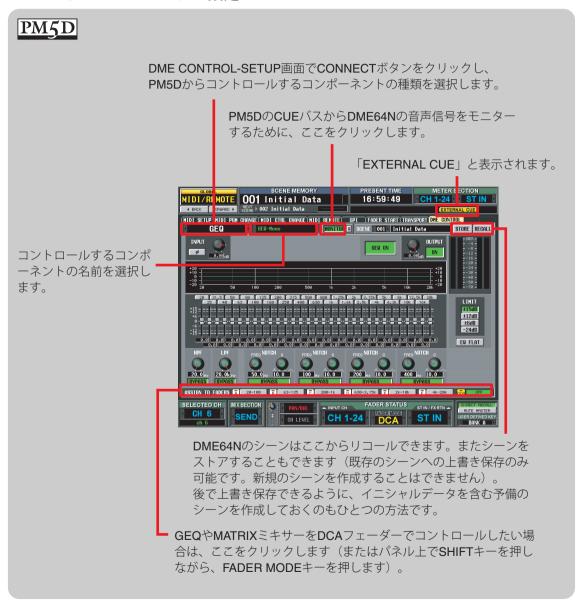
PATCH画面には「カスケード設定」で選択したスロットのかわりに、32入出力分のカスケードパッチが表示されます(画面中の黄色部分)。

PM5Dのオーディオチャンネルを自由にカスケードチャンネルにパッチでき、DME64N とのオーディオ信号の送受信が可能になります。

DME64Nを外部GEQやエフェクトユニット、またはスピーカープロセッサーとしてパッチし、使用することができます。



■コントロール&モニター設定



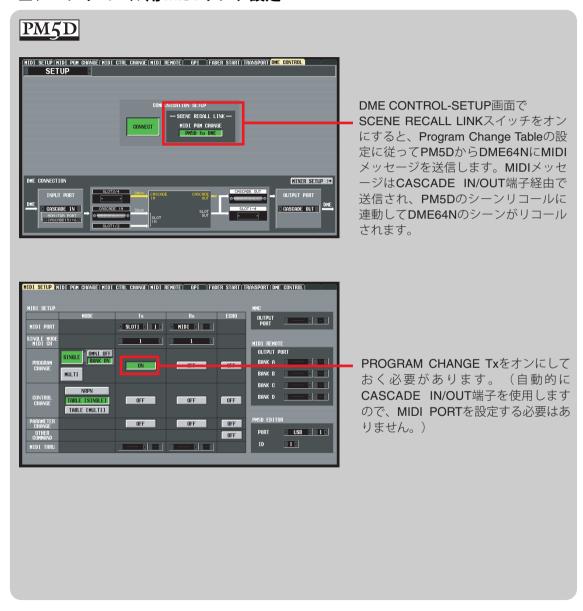
DME64N

DME Designer のMonitor Out ダイアログボックス(Tools メニュー内)でモニター用のカスケードポートを選択します。これにより PM5D の CUE バスで DME64N の音声信号をモニターすることができます。

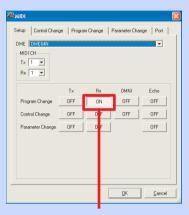


PM5D側では、DME CONTROL-SETUP画面で上記と同じポートを MONITOR PORT に設定してください。これにより DME64N の音 声信号を PM5D の CUE バスからモニターすることができます。

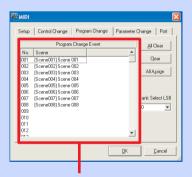
■シーンリコール用 MIDI リンク設定



DME64N



PROGRAM CHANGE Rxをオンにしておく必要があります。 (自動的にCASCADE IN/OUT端子を使用しますので、MIDI PORTを設定する必要はありません。)



PM5Dではデフォルトでプログラムチェンジナンバーにシーンが順番に割り当てられていますが、DME64Nでは手動で割り当てる必要があります。自由にプログラムチェンジナンバーにシーンを割り当ててください。(All Assignボタンをクリックすると、プログラムナンバー1から順番に割り当てますので便利です。)

モード2:リモートコントロールとオーディオ信号の単方向接続(PM5D→DME64N)

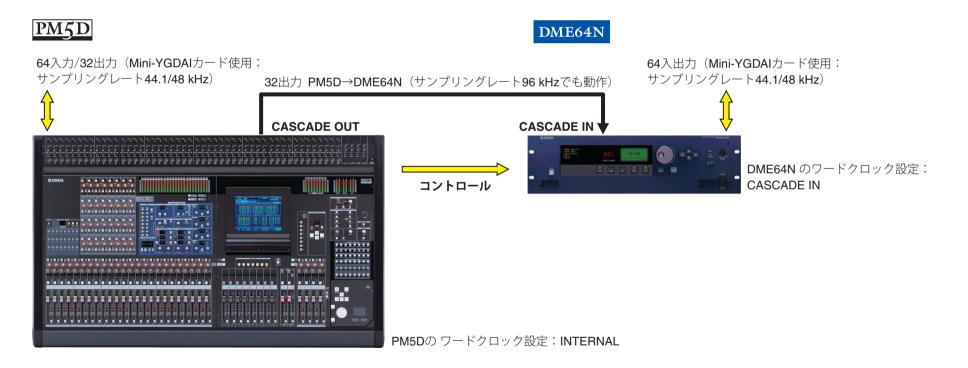
この接続ではPM5DのCASCADE OUT端子とDME64NのCASCADE IN端子を使用しますが、いわゆるカスケード機能ではありません。(MIXバスからの信号はミックスされません。PATCHファンクションを使用して入出力パッチ設定を行う必要があります。)

メリット:

- ・DME64Nをアウトプットプロセッサー(GEQ、クロスオーバー、ディレイなどの信号加工)として使用できます。
- ・DME64Nのさまざまな機能をPM5Dからコントロールできます。
- ・インサートセンド、ダイレクトアウトを含む PM5D の出力を自由に DME64N にパッチできます。
- ・96kHz 時でも、PM5D から DME64N への 32 の出力信号が扱えます。(CASCADE IN/OUT 端子は DOUBLE SPEED モードで動作します。)

デメリット:

- ・2 基の I/O スロットが出力用に使用できなくなります(入力用としては使用できます)。
- ・DME64Nからのリターン信号はスロット経由でのみ入力できます。
- ・DME64Nの音声信号をPM5DのCUEバスからモニターできません。

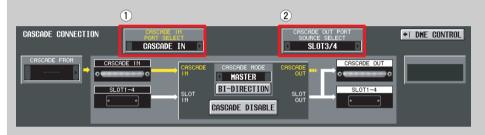


■カスケード設定

PM5D

MIXER SETUP 画面(SYS/W.CLOCK ファンクション内)で下記のように設定します:

CASCADE IN PORT (1)		CASCADE OUT PORT (2)
CASCADE IN		SLOT3/4
	(通常は使用しないオプションです)	SLOT1-4[CH1-8]
	(MY8またはMY4カードを使用している場合に有効です)	SLOT1-4[CH9-16]



上記で選択したスロットは通常の使用ができなくなります。(上記の接続方法は、通常使用できるスロットの数を制限します。)

カスケード機能を有効にした場合には、これらのスロットに入力されたオーディオ信号が PM5Dの MIX バスへと送られます (SYS/W.CLOCK ファンクション内の CASCADE 画面で設定します)。

DME CONTROL 画面(MIDI/REMOTE ファンクション内)で下記のように設定します:

INPUT PORT (3)	OUTPUT PORT (4)
	CASCADE OUT

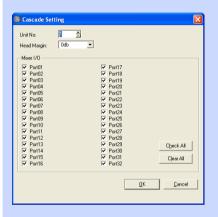


DME64N

Cascade Setting ダイアログボックス(Properties 内)で下記のように設定します:

この方法でPM5Dと接続する場合はHead Margin を 0dB に設定してください。

使用したいポートをすべてチェックしてください。



NOTE:

PM5Dでコントロールしている間でもDME Designerはオンライン状態でかまいませんが、オフラインにするとより快適な速度でのコントロールが行えます。

■パッチ設定

PM₅D

PATCH画面には「カスケード設定」で選択したスロットのかわりに、32入出力分のカスケードパッチが表示されます(画面中の黄色部分)。

PM5Dのオーディオチャンネルを自由にカスケードチャンネルにパッチでき、DME64Nへのオーディオ 信号の送信が可能になります。

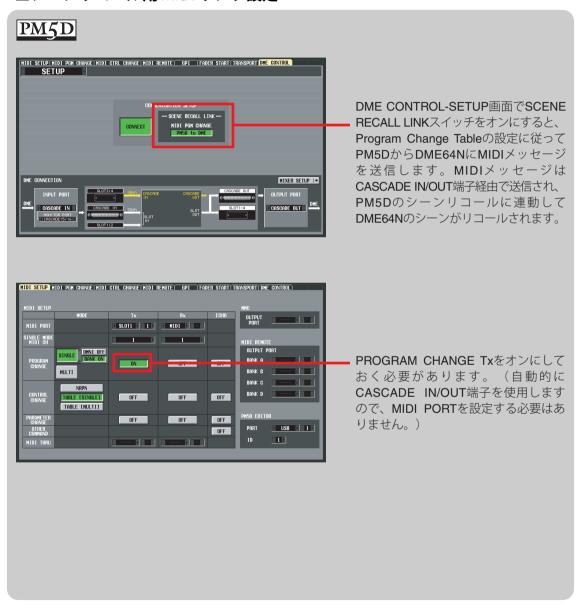
■コントロール&モニター設定

PM5D

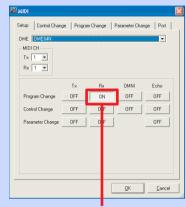
この接続では DME64N のさまざまな機能を PM5D からコントロールできますが、 DME64N の音声信号を PM5D でモニターすることはできません。

DME64Nのシーンについては、リコールおよびストア(上書き保存)ができます。詳しくは6ページを参照してください。

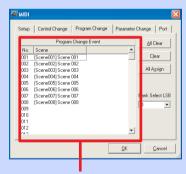
■シーンリコール用 MIDI リンク設定



DME64N



Program Change Rxをオンにしておく必要があります。 (自動的にCASCADE IN/OUT端子を使用しますので、MIDI PORTを設定する必要はありません。)



PM5Dではデフォルトでプログラムチェンジナンバーにシーンが順番に割り当てられていますが、DME64Nでは手動で割り当てる必要があります。自由にプログラムチェンジナンバーにシーンを割り当ててください。(All Assignボタンをクリックすると、プログラムナンバー1から順番に割り当てますので便利です。)

モード3:オーディオ信号の単方向カスケード接続(PM5D→DME64N)

この接続ではカスケード機能を使用します。信号は PM5D の CASCADE OUT 端子から DME64N の CASCADE IN 端子に送られます。(PM5D の MIX バスからの信号は DME64N の カスケードバスに送られます。)

メリット:

- ・マトリクスミキサーの拡張として DME64N を使用できます。
- ・DME64Nをアウトプットプロセッサー(GEQ、クロスオーバー、ディレイなどの信号加工)として使用できます。
- ・すべてのI/Oスロットを他の機器の接続に使用できます。
- ・この接続では入出力チャンネル数を減らすことなく、サンプリングレート 96kHz でも動作します。(CASCADE IN/OUT 端子は DOUBLE SPEED モードで動作します。)

デメリット:

- ・PM5Dのどのチャンネルを DME64N に送るかを自由に設定することはできません。
- ・PM5DのCASCADE OUT端子から出力されるオーディオ信号は、EQ、コンプやディレイなどの処理がされていない信号です(EQ、コンプ、ディレイはバイパスされます)。
- ・DME64Nからのリターン信号はスロット経由でのみ入力できます。
- ・DME64Nの機能をPM5Dからコントロールできません。
- ・DME64Nの音声信号をPM5DのCUEバスからモニターできません。



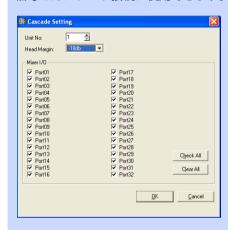
■カスケード設定 PM5D MIXER SETUP画面(SYS/W.CLOCKファンクション内)で下記のように設定します: CASCADE IN PORT (1) CASCADE OUT PORT (2) CASCADE IN (デフォルト設定です) CASCADE OUT 1 (2) CASCADE CONNECTION +| DME CONTROL CASCADE IN CASCADE OUT CASCADE IN MASTER BI-DIRECTION BI-DIRECTIONAL ボタンをオフにし(灰色表示)、CASCADE ENABLE ボタンをオンにします(緑色表示)。 この接続方法では、DME CONTROL 画面(MIDI/REMOTE ファンクション内)での設定は必要ありません。

DME64N

Cascade Setting ダイアログボックス(Properties 内)で下記のように設定します:

この方法でPM5Dと接続する場合はHead Marginを-18dBに設定してください。

使用したいポートをすべてチェックしてください。 チェックされていないポートは、他のDME64Nとのオーディオ 信号のカスケード接続に使用できます。



■パッチ設定

PM5D

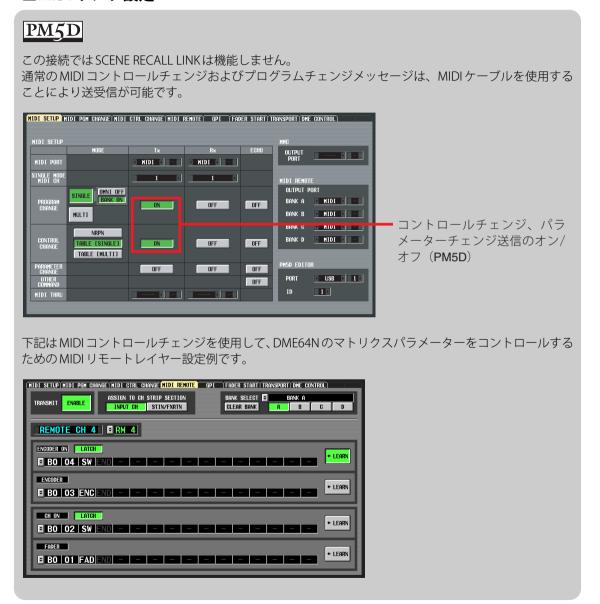
OUTPUT PATCH画面で、4基すべてのI/Oスロットを通常どおりパッチできます。

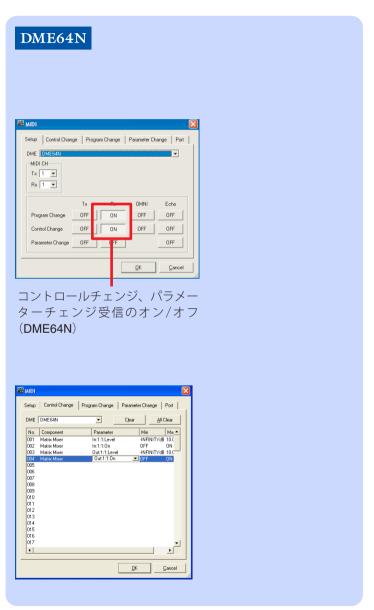
■コントロール&モニター設定

PM5D

この接続では DME64N の音声信号を PM5D でもモニターすることはできません。 DME64N のシーンについても、リコールおよびストア(上書き保存)ができません。 ただし MIDI コントロールチェンジメッセージと MIDI リモートレイヤーの設定により、PM5D から DME64N のいくつかの機能をコントロールできます。詳しくは次ページを参照してください。

■MIDI リンク設定





モード4:オーディオ信号の単方向接続(DME64N→PM5D)

この接続ではPM5DのCASCADE IN端子を使用しますが、いわゆるカスケード機能ではありません。(MIXバスからの信号はミックスされません。PATCHファンクションを使用して入出力パッチ設定を行う必要があります。)

NOTE:

DME64Nのカスケード出力と PM5Dの MIX バスをつなげるためにカスケード機能を使用することはできません。

メリット:

- ・サブミキサーのように、外部入力用としてDME64Nを使用できます。
- ・DME64Nのカスケード出力を自由にPM5Dの入力にパッチできます。
- ・すべてのI/Oスロットをマルチトラックレコーディングなど、出力用に使用できます。
- ・96kHz 時でも、DME64N から PM5D への 32 の出力信号が扱えます。(CASCADE IN/OUT 端子は DOUBLE SPEED モードで動作します。)

デメリット:

- ・2基のI/Oスロット(32入力)が使用できなくなります。
- ・DME64Nのコントロール機能が使用できません。
- ・DME64Nの音声信号をPM5DのCUEバスからモニターできません。



■カスケード設定

PM₅D

MIXER SETUP 画面(SYS/W.CLOCK ファンクション内)で下記のように設定します:

CASCADE IN PORT (①)	CASCADE OUT PORT (2)
SLOT4	(DME64N からは 16 チャンネル分のみの音声を受信できます)	CASCADE OUT
SLOT3/4		
SLOT1-4 [CH1-8]	(通常は使用しないオプションです)	
SLOT1-4 [CH9-16]	(MY8 または MY4 カードを使用している場合に有効です)	

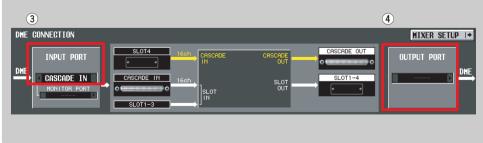


上記で選択したスロットは通常の使用ができなくなります。(上記の接続方法は、通常使用できるスロットの数を制限します。)

カスケード機能は必ず無効にしておきます。

DME CONTROL 画面(MIDI/REMOTE ファンクション内)で下記のように設定します:

INPUT PORT (3)	OUTPUT PORT (4)
CASCADE IN	[blank]

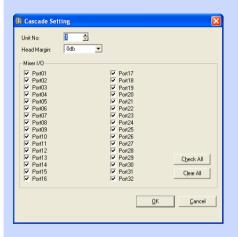


DME64N

Cascade Setting ダイアログボックス(Properties 内)で下記のように設定します:

この方法でPM5Dと接続する場合はHead Margin を 0dB に設定してください。

使用したいポートをすべてチェックしてください。

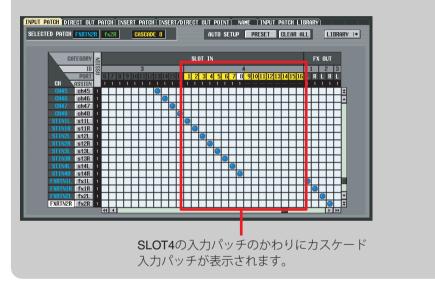


■パッチ設定

PM₅D

PATCH画面では、「カスケード設定」で選択したスロットのかわりに、カスケードパッチが表示されます(画面中の黄色部分)。

DME64N からの入力を自由に PM5D の入力チャンネル (またはインサートリターン) にパッチできます。



■コントロール&モニター設定

PM5D

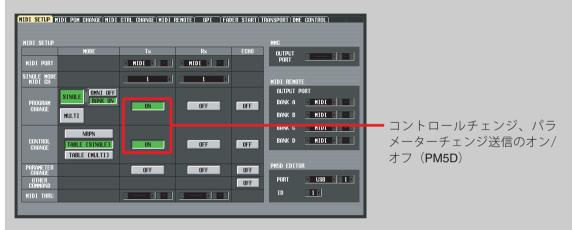
この接続では DME64N の音声信号を PM5D でもモニターすることはできません。 DME64N のシーンについても、リコールおよびストア(上書き保存)ができません。 ただし MIDI プログラムチェンジおよびコントロールチェンジメッセージと MIDI リモートレイヤーの設定により、PM5D から DME64N のいくつかの機能をコントロールできます。詳しくは次ページを参照してください。

■MIDI リンク設定

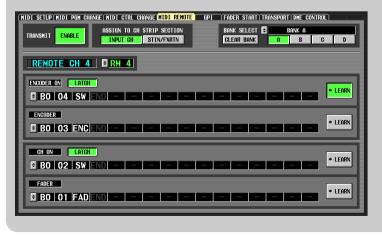
PM5D

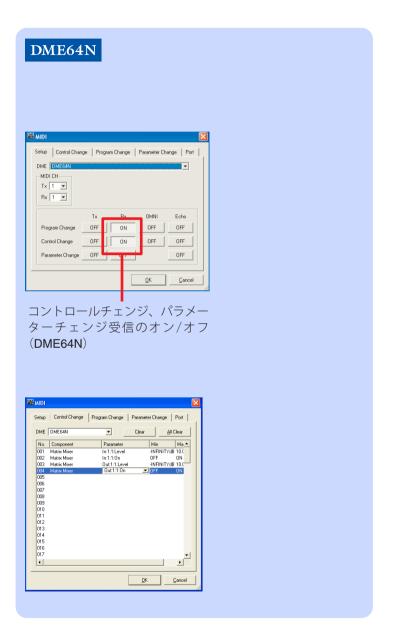
この接続ではSCENE RECALL LINK は機能しません。

通常のMIDIコントロールチェンジおよびプログラムチェンジメッセージは、MIDIケーブルを使用することにより送受信が可能です。



下記は MIDI コントロールチェンジを使用して、 DME64N のマトリクスパラメーターをコントロールする ための MIDI リモートレイヤー設定例です。





リモートコントロールとオーディオ信号の双方向接続(MY16-C/MY16-CIIカードを使用した場合)

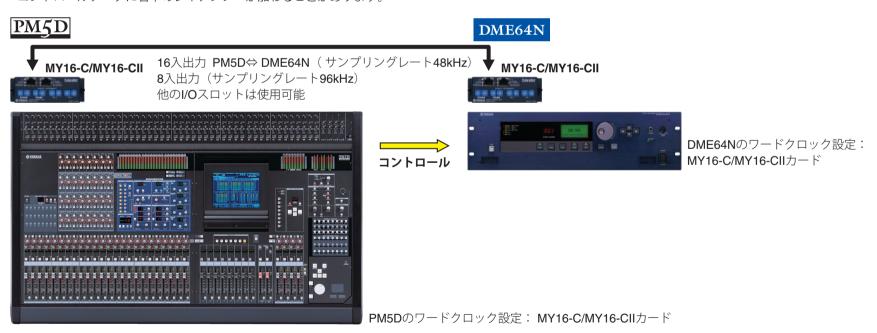
この接続ではI/Oスロットに MY16-C/MY16-CIIカードを挿入して使用し、通常のパッチ設定を行います。PM5Dから DME64Nをコントロールすることができます。

メリット:

- ・DME64Nを外部GEO/PEOとしてインサートできます。
- ・DME64Nを外部エフェクト (Send/Return) として使用できます。
- ・DME64Nのさまざまな機能をPM5Dからコントロールできます。
- ・インサートセンド、ダイレクトアウトを含む PM5D の出力を自由に DME64N にパッチできます。
- ・DME64Nの音声信号をPM5DのCUEバスからモニターできます。
- ・CASCADE IN/OUT 端子は他のコンソールの接続に使用できます。
- ・CobraNet ネットワークに対応したシンプルな CAT5 接続です。

デメリット:

- PM5DとDME64N間の入出力が16に限定されます(サンプリングレート48kHz時)。
- ・サンプリングレート96kHz時には、入出力が8に限定されます。
- ・44.1kHz、88.2kHzのサンプリングレートには対応していません。
- ・コントロールデータに若干のレイテンシーが加わることがあります。



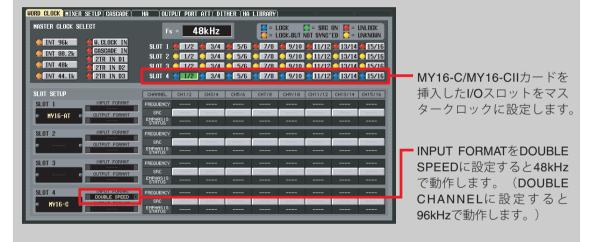
■カスケード設定

PM5D

MIXER SETUP 画面(SYS/W.CLOCK ファンクション内)で下記のように設定します:

CASCADE IN PORT		CASCADE OUT PORT	
CASCADE IN	(デフォルト設定です)	CASCADE OUT	

WORD CLOCK 画面 (SYS/W.CLOCK ファンクション内) で下記のように設定します:



DME CONTROL 画面(MIDI/REMOTE ファンクション内)で下記のように設定します:





DME64N

NOTE:

PM5Dでコントロールしている間でもDME Designerはオンライン状態でかまいませんが、オフラインにするとより快適な速度でのコントロールが行えます。

■MY16-C カード設定

下記は MY16-C の設定例(ピア・トゥ・ピア接続)です:

BUNDLE ASSIGNMENT(パネル上のスイッチで設定します):

	OUT 2	OUT 1	IN 2	IN 1
PM5DI/Oスロット	2-2	2-1	1-2	1-1
DME64N I/O スロット	1-2	1-1	2-2	2-1

SERIAL ASSIGNMENT(基板上のスイッチで設定します):

	RX	TX
PM5DI/Oスロット	1	2
DME64N I/O スロット	2	1

内蔵ディップスイッチ:

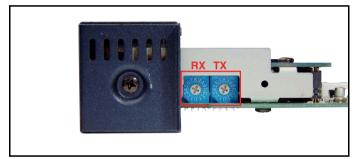
1	ON	オーディオビット数:24 ビット
2	OFF	クロック周波数:48kHz
3	ON	レイテンシー:1.33ms
4	OFF	
5	OFF	クロック同期方式:ネットワーク同期(マスタークロックは
6	OFF	MY16-Cカード)
7	OFF	RESERVED
8	OFF	

NOTE:

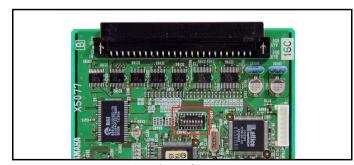
接続にはCAT5クロスケーブルを使用してください。



BUNDLE ASSIGNMENT



SERIAL ASSIGNMENT



内蔵ディップスイッチ

■MY16-CIIカード設定

下記はMY16-CIIの設定例(ピア・トゥ・ピア接続)です:

設定はすべて、CobraNet Manager Lite for Yamaha のソフトウェアでおこないます。

設定の詳細については CobraNet Manager Lite for Yamaha のマニュアルをご覧ください。

バンドルアサイン:

	Rx1	Rx2	Tx1	Tx2
PM5DI/Oスロット	273	274	289	290
DME64N I/O スロット	289	290	273	274

NOTE:

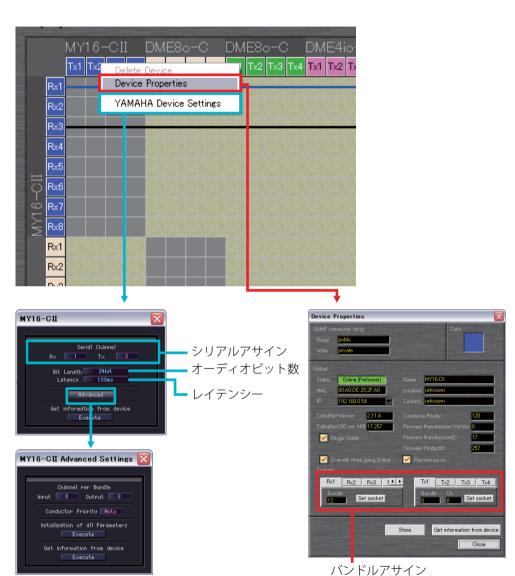
これらのバンドル番号は、前ページに記載のMY16-Cカード設定と互換性がある番号ですので、MY16-CカードとMY16-CIIカードを組み合わせて使用することができます。

シリアルアサイン:

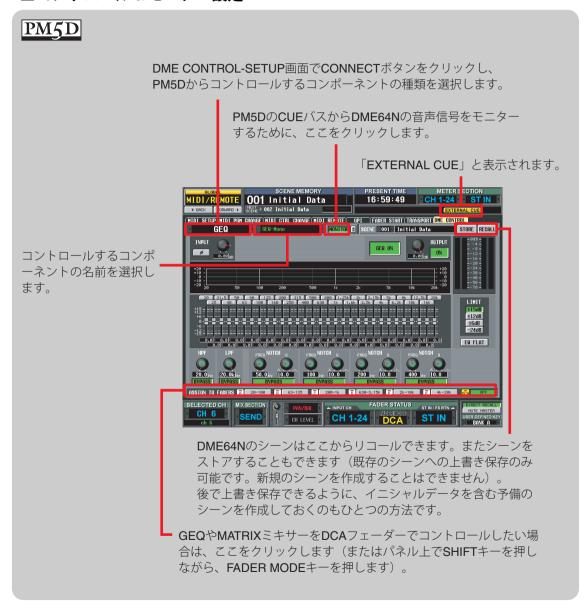
	RX	TX
PM5DI/Oスロット	1	2
DME64N I/O スロット	2	1

その他の設定:

オーディオビット数	24bit
レイテンシー	1.33ms

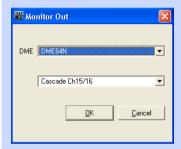


■コントロール&モニター設定



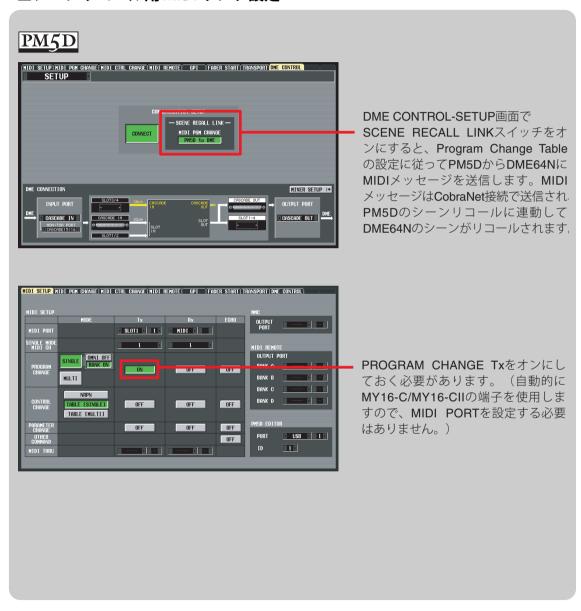
DME64N

DME Designer の Monitor Out ダイアログボックス(Tools メニュー内)でモニター用の MY16-C/MY16-CII の出力を選択します。これにより PM5D の CUE バスで DME64N の音声信号をモニターすることができます。

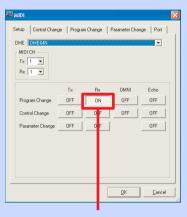


PM5D側では、DME CONTROL-SETUP画面で上記と同じポートを MONITOR PORT に設定してください。これにより DME64N の音 声信号を PM5D の CUE バスからモニターすることができます。

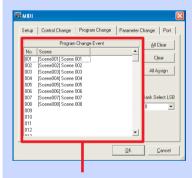
■シーンリコール用 MIDI リンク設定



DME64N



Program Change Rxをオンにしておく必要があります。 (自動的にMY-16C/MY16-CIIの端子を使用しますので、 MIDI PORTを設定する必要はありません。)



PM5Dではデフォルトでプログラムチェンジナンバーにシーンが順番に割り当てられていますが、DME64Nでは手動で割り当てる必要があります。自由にプログラムチェンジナンバーにシーンを割り当ててください。(All Assignボタンをクリックすると、プログラムナンバー1から順番にシーンを割り当てますので便利です。)

リモートコントロールとオーディオ信号の双方向接続(MY16-C/MY16-CIIカードを使用した場合)

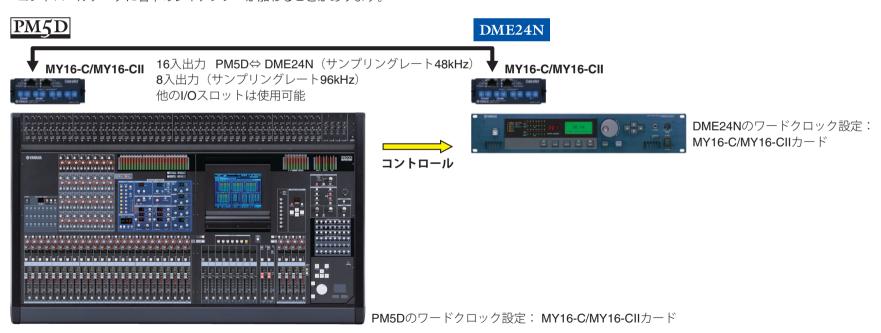
この接続ではI/OスロットにMY16-C/MY16-CIIカードを挿入して使用し、通常のパッチ設定を行います。PM5DからDME24Nをコントロールすることができます。

メリット:

- ・DME24Nを外部GEO/PEOとしてインサートできます。
- ・DME24Nを外部エフェクト (Send/Return) として使用できます。
- ・DME24Nのさまざまな機能をPM5Dからコントロールできます。
- ・インサートセンド、ダイレクトアウトを含む PM5D の出力を自由に DME24N にパッチできます。
- ・DME24Nの音声信号をPM5DのCUEバスからモニターできます。
- ・CASCADE IN/OUT 端子は他のコンソールの接続に使用できます。
- ・CobraNet ネットワークに対応したシンプルな CAT5 接続です。

デメリット:

- PM5DとDME24N間の入出力が16に限定されます(サンプリングレート48kHz時)。
- ・サンプリングレート96kHz時には、入出力が8に限定されます。
- ・44.1kHz、88.2kHzのサンプリングレートには対応していません。
- ・コントロールデータに若干のレイテンシーが加わることがあります。



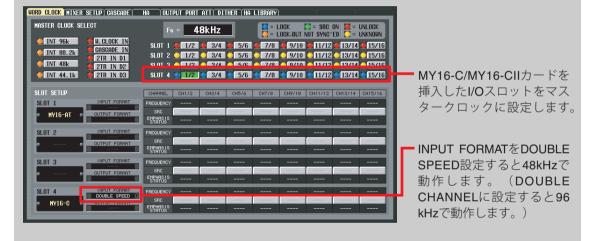
■カスケード設定

PM5D

MIXER SETUP 画面(SYS/W.CLOCK ファンクション内)で下記のように設定します:

CASCADE IN PORT		CASCADE OUT PORT
CASCADE IN	(デフォルト設定です)	CASCADE OUT

WORD CLOCK 画面(SYS/W.CLOCK ファンクション内)で下記のように設定します:



DME CONTROL 画面(MIDI/REMOTE ファンクション内)で下記のように設定します:

INPUT PORT (1)	OUTPUT PORT (2)
SLOT 4 (MY16-C/MY16-CIIカードを挿入したI/Oスロットを選択してください。下記はSLOT 4の場合です。)	SLOT 4



DME24N

NOTE:

PM5Dでコントロールしている間でもDME Designerはオンライン状態でかまいませんが、オフラインにするとより快適な速度でのコントロールが行えます。

■MY16-C カード設定

下記は MY16-C の設定例(ピア・トゥ・ピア接続)です:

BUNDLE ASSIGNMENT(パネル上のスイッチで設定します):

	OUT 2	OUT 1	IN 2	IN 1
PM5DI/Oスロット	2-2	2-1	1-2	1-1
DME24N I/O スロット	1-2	1-1	2-2	2-1

SERIAL ASSIGNMENT(基板上のスイッチで設定します):

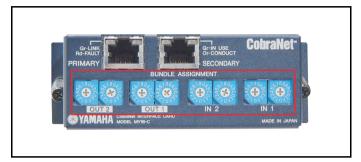
	RX	TX
PM5DI/Oスロット	1	2
DME24N I/O スロット	2	1

内蔵ディップスイッチ:

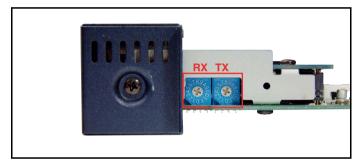
1	ON	オーディオビット数:24ビット
2	OFF	クロック周波数:48kHz
3	ON	レイテンシー:1.33ms
4	OFF	
5	OFF	クロック同期方式:ネットワーク同期(マスタークロックは
6	OFF	MY16-Cカード)
7	OFF	RESERVED
8	OFF	

NOTE:

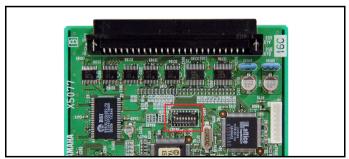
接続にはCAT5クロスケーブルを使用してください。



BUNDLE ASSIGNMENT



SERIAL ASSIGNMENT



内蔵ディップスイッチ

■MY16-CIIカード設定

下記はMY16-CIIの設定例(ピア・トゥ・ピア接続)です:

設定はすべて、CobraNet Manager Lite for Yamaha のソフトウェアでおこないます。

設定の詳細については CobraNet Manager Lite for Yamaha のマニュアルをご覧ください。

バンドルアサイン:

	Rx1	Rx2	Tx1	Tx2
PM5DI/Oスロット	273	274	289	290
DME64N I/O スロット	289	290	273	274

NOTE:

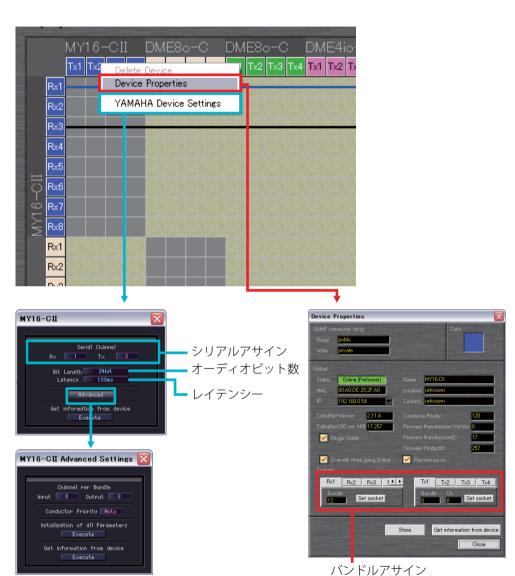
これらのバンドル番号は、前ページに記載のMY16-Cカード設定と互換性がある番号ですので、MY16-CカードとMY16-CIIカードを組み合わせて使用することができます。

シリアルアサイン:

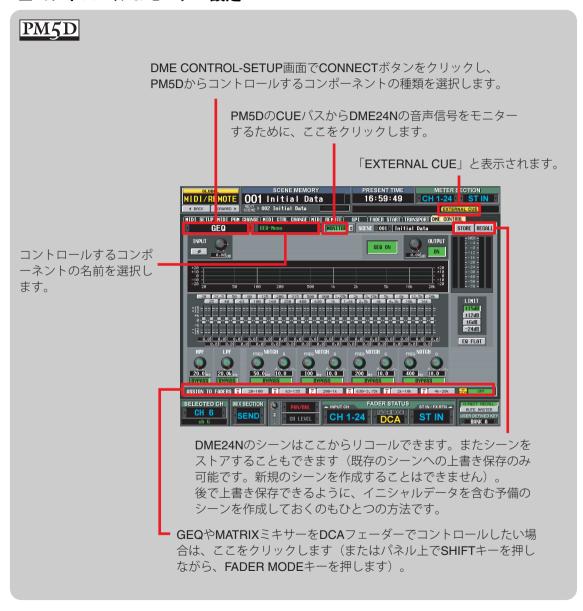
	RX	TX
PM5DI/Oスロット	1	2
DME64N I/O スロット	2	1

その他の設定:

オーディオビット数	24bit
レイテンシー	1.33ms



■コントロール&モニター設定



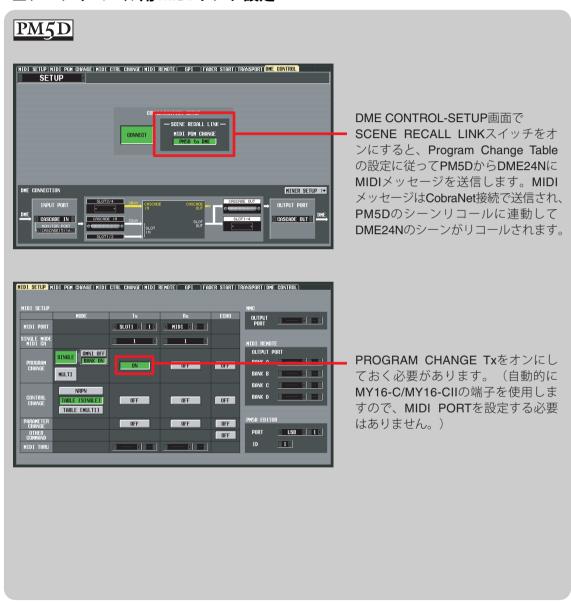
DME24N

DME Designer のMonitor Out ダイアログボックス(Tools メニュー内)でモニター用のMY-16C/MY-16CIIの出力を選択します。これによりPM5DのCUEバスでDME24Nの音声信号をモニターすることができます。

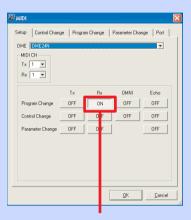


PM5D側では、DME CONTROL-SETUP画面で上記と同じポートを MONITOR PORT に設定してください。これにより DME24N の音 声信号を PM5D の CUE バスからモニターすることができます。

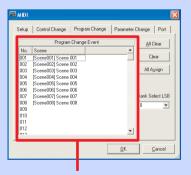
■シーンリコール用 MIDI リンク設定



DME24N



Program Change Rxをオンにしておく必要があります。(自動的にMY-16C/MY16-CIIの端子を使用しますので、MIDI PORTを設定する必要はありません。)



PM5Dではデフォルトでプログラムチェンジナンバーにシーンが順番に割り当てられていますが、DME24Nでは手動で割り当てる必要があります。自由にプログラムチェンジナンバーにシーンを割り当ててください。(All Assignボタンをクリックすると、プログラムナンバー1から順番にシーンを割り当てますので便利です。)

オーディオ信号の単方向カスケード接続(DM2000 → DME64N)

この接続では DM2000 の CASCADE OUT 端子を使用して、オーディオ信号を DM2000 のアウトプットバスから DME64N に送ります。 DM2000 から DME64N をコントロールすることはできません。

オーディオ信号のみを送る場合はこの接続が便利です。I/Oスロットを使用することもありません。また02R96でも同様の接続が可能です。

メリット:

- ・マトリクスミキサーの拡張としてDME64Nを使用できます。
- ・DME64Nをアウトプットプロセッサー(GEQ、クロスオーバー、ディレイなどの信号加工)として使用できます。
- ・すべてのI/Oスロットを他の機器の接続に使用できます。
- ・この接続では入出力チャンネル数を減らすことなく、サンプリングレート 96kHz でも動作します。(CASCADE IN/OUT 端子は DOUBLE SPEED モードで動作します。)

デメリット:

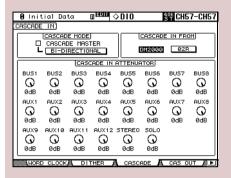
- ・DM2000のどのチャンネルをDME64Nに送るかを自由に設定できません。
- DM2000のCASCADE OUT端子から出力されるオーディオ信号は、EQ、コンプやディレイなどの処理がされていない信号です(EQ、コンプ、ディレイはバイパスされます)。
- ・DME64Nからのリターン信号はスロット経由でのみ入力できます。
- ・DME64Nの機能をDM2000からコントロールできません。
- ・DMF64Nの音声信号をDM2000のCUFバスからモニターできません。



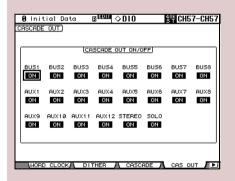
■カスケード設定

DM 2000

CASCADE IN および CASCADE OUT ページ(DIO グループ内)で下記のように選択します:



BI-DIRECTIONAL ボタンをオフにします。CASCADE MASTER 設定は必要ありません。



必要なカスケード出力チャンネルをオンにします。

DM2000 Output	DME64N Cascade In
Bus1	1
Bus2	2
Bus3	3
Bus4	4
Bus5	5
Bus6	6
Bus7	7
Bus8	8
StereoL	9
StereoR	10
SoloL	11
SoloR	12
Aux1	13
Aux2	14
Aux3	15
Aux4	16
Aux5	17
Aux6	18
Aux7	19
Aux8	20
Aux9	21
Aux10	22
Aux11	23
Aux12	24
not used	25-32

DME64N

Cascade Setting ダイアログボックス(Properties 内)で下記のように設定します:

この方法でDM2000と接続する場合はHead Marginを -18dBに設定してください。

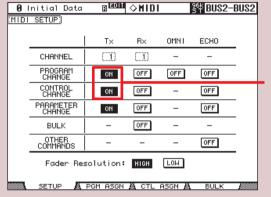
使用したいポートをすべてチェックしてください。 チェックされていないポートは、他のDME64N との オーディオ信号のカスケード接続に使用できます。



■MIDI リンク設定

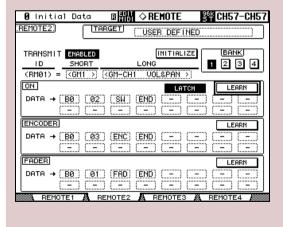
DM 2000

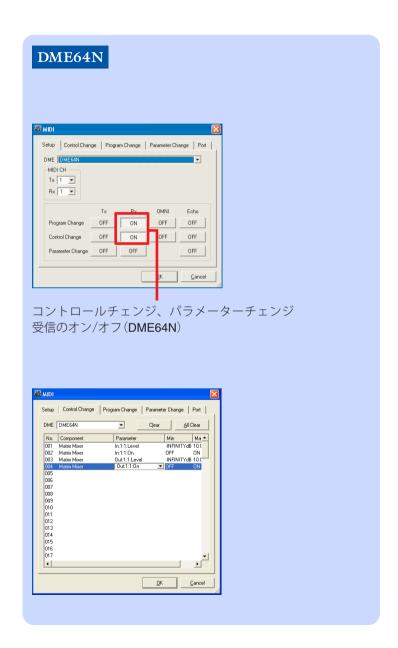
通常のMIDIコントロールチェンジおよびプログラムチェンジメッセージは、MIDIケーブルを使用することにより送受信が可能です。



コントロールチェンジ、パラ メーターチェンジ送信のオン/ オフ (DM2000)

下記はMIDI コントロールチェンジを使用して、DME64Nのマトリクスパラメーターをコントロールする ためのリモートレイヤー設定例です。





改訂履歴
Cascade Setup Guide

月日	Version	内容
2006年3月	1.0	初版リリース
2007年7月	2.0	23、29ページ「MY16-CIIカード設定」記述追加